

令和3年6月発刊



## 新型コロナウイルス感染災禍が 示した日本の医療課題と対応

衆済会増子記念病院 理事長・院長 両角國男

新型コロナウイルス感染第4波に愛知県でも3度目の緊急事態宣言が発出され不自由な日々が続いています。第3波では首都圏、第4波では関西圏は医療崩壊レベルとなっています。愛知県でも5月中旬に患者数が急増し、2週間後の重症者増加からの医療崩壊リスクを回避することが喫緊の課題です。

日本では、国民皆保険に支えられ高額な医療費負担なく、だれもが標準的医療を受けることができ、高度医療機器が世界一多い、人口比入院病床数も多いのに欧米に比較が少ない新型コロナ患者数で医療崩壊がなぜ起きるのでしょう？欧米では手術や救命救急など急性期治療への短期入院が原則で、集中的に医療資源を投下する医療が標準です。日本で入院している患者さんの相当数は欧米では入院診療対象になりません。

日本の病院診療は超急性期（救命救急）、急性期、回復期、慢性期に機能区分され、欧米と比べベッド数当たり医師も看護師も少ないのが実情です。日本では新型コロナウイルスの急激な患者数増加・重症化への救急入院や高度医療に対応する医療体制が不十分だったことが原因です。第2類指定感染症として最優先される新型コロナウイルス感染者増加特に重症化に対応できなくなり、その影響から救命救急医療にまでほころびが起きました。現在、各病院はそれぞれの役割分担を明確化し強力な連携で医療崩壊を阻止する地域医療体制整備が進行中で、着実に成果を示してきています。

1年前のますこ・すばる新聞に新型コロナウイルス終息にむけての期待を記載しましたが、残念なことに感染管理に難渋中が実情です。新型コロナ感染に関する研究や診療経験も蓄積されてきましたが、有効性が非常に高いワクチンが新型コロナウイルス対策の切り札です。新型コロナウイルス感染率が人口の10%となった米国や6.6%のイギリスではワクチンにより感染者は15%以下まで急速に減少しました。

一方、日本ではワクチン接種・予約すら円滑にできないことへの不安や不満からストレスメーターは上昇し、社会の寛容性レベルを下げています。日本のワクチン接種は欧米諸国に比べ開始は遅れ5月中旬時点での接種率も極めて低いです。これから急速にワクチン接種が進んでいきます。

増子記念病院では行政の方針に沿って医療従事者へのワクチン接種を実施中です。高齢者向け集団接種に医師や看護師が出務し、6月に高齢者用ワクチンが供給されれば施設接種も開始できます。日本ではロックダウンしない緩やかな社会規制と一人一人の感染防止意識の高さと優れた衛生環境で人口比感染率は0.5%と今までは感染爆発を抑制してきたと思います。新型コロナウイルス感染制御はワクチン接種率上昇で加速します。

増子記念病院では最大限の新型コロナウイルス感染予防対策と治療をしてきました。入院中のご家族に自由に面会できないなどご不便や不安などがあることは承知しています。これからも感染完全制御の日まで当院を利用いただく皆様の信頼に応えるべく最大の努力をしていきます。皆さんと手を携えて一日でも早く新型コロナウイルス感染を終息させるためにご理解とご協力をお願い致します。明けない夜はありませんし、夜明けは近くなっています。

## 1. 新任医師の紹介

増子記念病院に、医師が新しく赴任しました。腎臓内科の石川重史（いしかわしげふみ）先生を紹介します。



腎臓内科 石川重史先生

4月より腎臓内科に赴任した石川重史と申します。

前は安城更生病院に3年勤務して、腎不全や血液透析、腹膜透析などの診療に携わっていました。増子でもこれまでの経験を生かして外来診療、透析診療を通して皆さんの健康や生活を支えることができるよう努めていきます。出身が西尾市ですが、大学が県外だったり名古屋は知らないことの方が多いので、名古屋のいいところとかを教えてくださいと幸いです。

よろしくお願いいたします。

## 2. 腎移植手術の実施について

当院では、腎不全治療へ向けた医療として腎移植手術を実施しています。腎移植手術は、他者の健康な腎臓を手術により患者さんへ移植する、末期腎不全の根治的な治療方法です。高度な医療技術が必要となる手術であるため、限られた医療施設のみで実施が可能です。

当院では腎臓病治療の専門病院として、この腎移植手術を積極的に手掛けています。近年は5～10件程度腎移植手術を実践しており、過去3年間（2018年度～2020年度）では20件の腎移植手術を行いました。

- 歴史的には、東海地方第一例目の献腎移植手術が当院で行われました。
- 当院には腎移植専門医師が複数名在籍しており、各手術で良好な成績を収めています。
- 約450名の腎移植手術後の患者さんがフォローアップの為に当院へ外来通院しています。

詳細は、ホームページで  
ご紹介しています。



### 3.サービス付き高齢者向け住宅「豊国ハイツ」のご紹介

増子記念病院グループ施設、「豊国ハイツ」では、ただ今入居者を募集しています。豊国ハイツは、増子記念病院と連携し、24時間スタッフ常駐体制で、安心の住まいを提供するサービス付き高齢者向け住宅です。住まいとして自由度の高い暮らしを楽しみながら、必要に応じて介護・看護サービスをご利用いただくことができます。

また、豊国ハイツがある中村公園エリアは、下町情緒が感じられるとともに、名古屋駅からも近く、周辺施設が充実した住みやすい街柄です。



豊国ハイツの詳細は、特設ホームページでご紹介しています。動画で施設の様子をご覧ください。

資料のご請求・お問い合わせ、見学につきましては、お気軽にご連絡ください。  
052-412-2100（受付時間9:00～17:00）



### 4.「認知症対応モデル病院」に認定されました

名古屋市が行う「認知症対応モデル病院養成事業」に基づく実地指導を受講し、当院は本年3月に「認知症対応モデル病院」に認定されました。

認知症対応モデル病院とは、認知症患者の受入れ体制の整った病院であることを指します。認知症患者を適切に受け入れるため組織（認知症サポートチーム）と、認知症患者受入体制（院内対応マニュアル）を整備し、基準を満たした病院がこの認定を受けることができ、現在名古屋市内では当院を含め、22の病院がこの認定を受けています。

人口の高齢化とともに、認知症患者は増加の一途をたどり、2025年には高齢者の5人に1人が認知症になると考えられています。

認知症の方が安心して利用できる病院づくりへむけて、これからもさらに努力してまいります。

